

2011年度

U 日本史問題

注 意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は16ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はⅠ・Ⅱとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

 (3と解答する場合)

I. 次の文1～9を読み、下記の設問A～Dに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 日本列島において、いつ頃からどのような税制が行われていたのかは必ずしも明らかではない。しかし、陳寿が編纂した『(イ)』には「租賦を収むに邸閭有り」とあり、邪馬台国には租税の制度が整っていたらしい。また最大の規模をほこる(ロ)の大仙陵古墳築造には、全盛時で1日あたり2千人が動員されたとして、のべ680万人の人員と15年8カ月の期間が必要であったと計算されており、労働力の強制的な徴発が行われていた事が推測される。そして『日本書紀』には「秦人・漢人等、諸蕃より投化せる者を召(招)集して国郡に安置し、戸籍に編貫す」とあり、6世紀中ごろには氏族制度のもとで一部の¹⁾人々が戸籍類似の帳簿によって把握されていたことが推定される。
2. 飛鳥浄御原令、そして大宝令には、戸籍・計帳によって人民を把握し、租税を課す制度が規定されていたらしい。というのも両令の原文は伝わらず、大宝令の条文のいくつかは、9世紀後半に惟宗直本らによって編纂された『(ハ)』に引用された注釈書から復原されているに過ぎないからである。しかしそれによれば、大宝令における戸籍・計帳の規定は、のちに施行された養老令と大きな違いはなかったらしい。養老令制下では全国が畿内・七道に行政区分され、²⁾人々は租・調・庸・雜徭等を負担したほか、天皇に対し特産の食料品をくあ>として貢上した。立教大学の池袋キャンパスと新座キャンパスは、いずれも令制のくい>国にあるが、くい>国から貢上されたくあ>の木簡が、平城宮跡からみつがっている。それによれば、くい>国の特産品のひとつは、³⁾鼓であった。鼓とは、10世紀前半に編纂された、律令の施行細則を定める『(ニ)』によれば、現在の味噌や醤油につながる大豆の発酵製品であったらしい。
3. 8世紀後半から9世紀になると、偽籍がふえ、手続きの煩雑さもあって班田収授の実施が困難となっていった。こうしたなか、光仁天皇は律令政治と国家財政の再建を目指した。この方針は、光仁天皇と渡来系氏族の血を引く(ホ)とのあいだに生まれた桓武天皇、そして嵯峨天皇へと引き継がれていく。しかし『(ヘ)』に817年から7⁴⁾年連続で干ばつなどの被害が記録されているように天候も不順で、その結果、財政難はますます深刻であった。嵯峨天皇は823年、大宰府にくう>を設けたが、これは、人別課税を基本とした律令制支配から土地課税を重視した支配への転換を示す最初期の例となった。律令制の再建を目指すなかで、その母国である中国の文物・制度を学びな

おそうという機運も高まった。大学では、漢文学や中国史を扱うく え 道が重視され、有力貴族は子弟の教育のため寄宿施設を設けた。また、この時期、神仏習合の傾向が強まり、天台宗・真言宗など密教の影響が濃い仏教文化がさかえた。⁵⁾

4. 10世紀に入ると戸籍・計帳による租税制度はほぼ崩壊し、国司へ租税納入を請け負わせる制度へと移行し始めた。国司は、田堵とよばれる土地の耕作請負人と契約し、かれらに官物や臨時雑役などの負担を課して、受領とよばれるようになった。10世紀後半になると、各地で有力者がさかんに土地開発⁶⁾を行い、やがて開発領主とよばれたかれらのうちには、税の負担を逃れるため土地を有力貴族や寺社に寄進するものがあらわれた。こうして成立した荘園のなかには、租税免除の特権をもつものが増加していった。開発領主たちは、土着した貴族に従属したり、在庁官人になったりして勢力を拡大し、地方の武士団として成長していった。やがて、中央貴族の血筋を引く清和源氏や桓武平氏は、地方武士団を組織して大きな勢力を築くようになった。なかでも（ト）に土着していた源満仲とその子の頼光・くお兄弟は、摂関家の保護を得て勢力を伸ばし、くおは上総で起った平忠常の乱を鎮定した。このように武士が台頭するなか、『（チ）』の作者西行は、『聞書集』のなかで次のように詠じている。

（詞書）世の中に武者起りて、西東北南、いくさならぬ所無し、うち続き人の死ぬる数聞^{おびただ}く夥し、まこととも覚ぬ程なり、こは何事の争ひぞや、あはれなる事のさまかなと覚えて⁷⁾

（歌）死出の山 越ゆる絶え間はあらじかし 亡くなる人の 数続きつゝ

5. 鎌倉幕府は、荘園・公領に地頭を置いたが、やがて地頭は荘園の経営に干渉するようになった。『東大寺文書』には、次のような文書がある。

下す ^{あかなべ} 茜部御庄住民等

早く地頭請所として御年貢を進済せしむべき事

右、当御庄は、是れ（リ）の沙汰としては、百疋・千両を弁じ難きに依て、地頭の沙汰として、請文の状に任せ、御年貢を進済せしむべきなり。住民等宜しく承知し、違失すべからざるの状、件の如し。故に下す。

貞応二年八月 日

⁸⁾
別当僧正前法務 在判

6. 豊臣秀吉は新しく獲得した領地に検地をおこない、1つの土地に何人もの権利が重なっていた状態を整理した。すなわち、面積単位・容積単位を定めて枡の大きさを京枡⁹⁾で統一し、田畑に等級をつけ、各等級の1段あたりの標準生産力を定め、田畑ごとにその耕作者を土地台帳に記載した¹⁰⁾のである。これにより、荘園制度は完全に崩壊することとなった。年貢の納入額は、1段あたりの標準生産力に面積を乗じて得られた量の(ヌ)が一般的で、村が一括して年貢を納入する村請が行われた。
7. 江戸時代の農村では、土地台帳に登録された田・畑・家屋敷を所持し、年貢・諸役をつとめ、村政に参加する本百姓が村を構成した。江戸幕府は、このような本百姓の維持・安定に努め、数々の禁令を発した。本百姓の負担は、田・畑・家屋敷を基準にかけられる年貢が中心であった。元禄時代、経済の成長によって貨幣経済が農村にも浸透し、商品作物の栽培がすすんだ¹¹⁾。このような経済発展の背景には、新田開発と並んで諸産業の発達があった。金銀の産出量は17世紀後半に急減するが、代わって銅の産出量が増えていった。こののち幕府は、銅の輸出可能額に基づく貿易制度の確立を図る法令を発することとなる¹²⁾。
8. 明治政府は、地券を発行して土地の所有権を認め、それをもとに地券所有者を納税者として税金を金納させる地租改正条例を1873年に公布した。国税収入に占める地租の割合は非常に高かったが、高額な地租に反抗して各地で農民一揆が起り、1877年、税率は<カ>%に軽減された。
9. 1949年、GHQ財政顧問として来日したドッジは、経済安定9原則の実施のため、緊縮予算によってインフレを抑制し、1ドル=360円の単一為替レートを設定して輸出の振興をはかろうとした。また同年に来日したシャープは、間接税の整理と直接税中心主義、地方税源の拡充強化、税務行政の改善などを勧告し、これにもとづいて税制の改革が行われた。しかし、地方税制の改革は不十分で、「3割自治」とよばれるように、地方自治体の財政基盤は弱体のままであった。地方財政の基盤強化は、2001年の<キ>内閣の誕生による「三位一体の改革」でようやく議論されることとなる。また間接税については、1988年、(ル)内閣のもとで税率を3%とする消費税法が成立し、翌年4月1日に施行された。その後、1994年には、消費税を廃止して税率を7%とする「国民福祉税」が構想されたが実現しなかった。そして同年、<ク>内閣は地方消費税の導入と消費税の税率引き上げを決定し、<ク>退陣翌年の1997年4月に実施された。

A. 文中の空所(イ)～(ル)にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次の a～d から 1つずつ選び、その記号をマークせよ。

- | | | | | |
|-----|-----------|-----------|-----------|----------|
| (イ) | a. 漢書 | b. 三国志 | c. 史記 | d. 宋書 |
| (ロ) | a. 大阪府 | b. 京都府 | c. 滋賀県 | d. 奈良県 |
| (ハ) | a. 続日本紀 | b. 令集解 | c. 類聚国史 | d. 和名類聚抄 |
| (ニ) | a. 延喜式 | b. 延暦交替式 | c. 文鏡秘府論 | d. 類聚三代格 |
| (ホ) | a. 阿仏尼 | b. 菅原孝標の女 | c. 高野新笠 | d. 藤原薬子 |
| (ヘ) | a. 今鏡 | b. 日本後紀 | c. 日本三代実録 | d. 風土記 |
| (ト) | a. 伊勢 | b. 下総 | c. 摂津 | d. 陸奥 |
| (チ) | a. 犬筑波集 | b. 閑吟集 | c. 猿蓑 | d. 山家集 |
| (リ) | a. 預所 | b. 郡司 | c. 券契所 | d. 守護 |
| (ヌ) | a. 100分の3 | b. 3分の1 | c. 2分の1 | d. 3分の2 |
| (ル) | a. 竹下登 | b. 中曾根康弘 | c. 細川護熙 | d. 宮沢喜一 |

B. 文中の空所<あ>～<く>にあてはまる適当な語句または数字をしるせ。

C. 文中の下線部 1)～12)にそれぞれ対応する次の問 1～12に答えよ。

1. 6世紀ころの姓の実例として、「各(額)田部臣」の名が見えるのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。

- | | |
|-------------------|------------------|
| a. 熊本県江田船山古墳出土鉄刀銘 | b. 埼玉県稲荷山古墳出土鉄剣銘 |
| c. 島根県岡田山1号墳出土大刀銘 | d. 奈良県石上神宮蔵七支刀銘 |

2. この法令を施行し、本格的な条坊制をもつ京が設置された都に遷都したのは誰か。その名をしるせ。

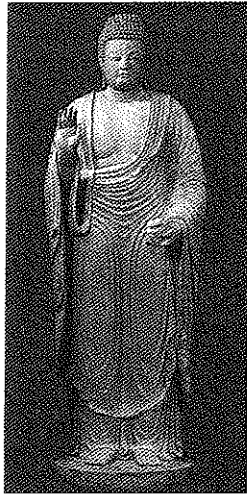
3. 養老令が施行されたとき政権の中枢におり、翌年に惠美押勝の名を賜ったのは誰か。その名をしるせ。

4. 桓武天皇の施策として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 出挙の利息を利率 5 割から 2 割に減らし、雑徭を廃止して人々の負担を軽減した
- b. 定員外の国司や郡司を廃止し、検非違使を設けて国司の交替に際しての事務の引継ぎを監督させた
- c. 天皇の命令をすみやかに太政官組織に伝えるために蔵人頭を創設し、藤原冬嗣らを任命した
- d. 徳政論争とよばれる議論を裁定し、東北地方での戦いと平安京造営という二大事業を打ち切ることにした

5. これを表す彫刻はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

a.



b.



c.

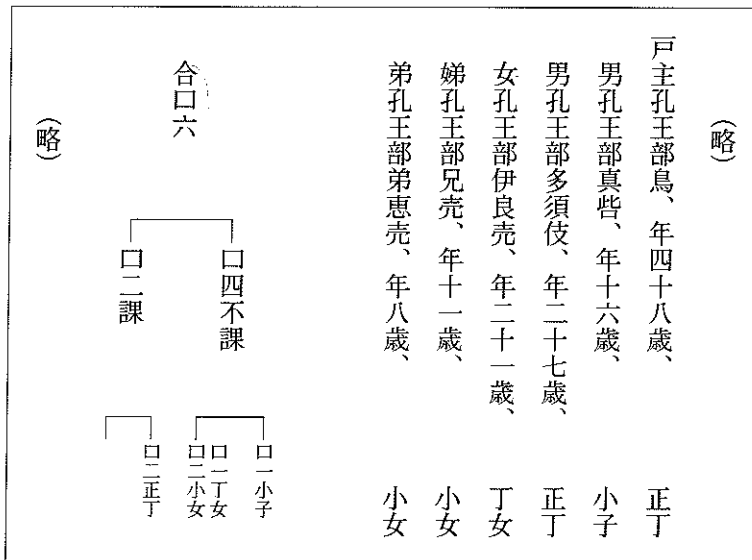


d.



6. 受領に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 尾張国郡司百姓等解は、巨利を得ようとする尾張守藤原元命の暴政を訴えている
 - b. 紀伊国阿弭河莊民訴状には、受領が「ミヽヲキリ、ハナヲソキ」と百姓を脅した様子が記されている
 - c. 『今昔物語集』は、強欲な信濃守藤原秀郷が「受領は倒れるところに土をもつかめ」といったとつたえる
 - d. 貧窮問答歌には、受領が答で百姓を遣い立てる様子がうたわれている
7. この戦いは 5 年におよび、西行はその晩年に戦いの一方の主人公と会ったことが『吾妻鏡』に記されている。この戦いに関する記述として、正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 北条時政は、源頼家の後見の比企能員を滅ぼし、頼家を廃して弟の実朝を立て鎌倉幕府の実権を握った
 - b. 北条泰時・時房らが京都に攻め入り、後鳥羽・土御門・順徳の 3 上皇は配流された
 - c. 源義朝・平清盛らは、源為義・平忠正らを破り、崇徳上皇は讃岐に流された
 - d. 以仁王の挙兵を呼びかける令旨に応じて興福寺などの僧兵が立ち上がり、つづいて各地の武士団が挙兵した
8. この年、鎌倉幕府は諸国の国衙に命じて土地台帳を作成させたが、それはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 大田文
 - b. 郷帳
 - c. 荘園絵図
 - d. 坪付帳
9. 京枡の容積はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 約 0.8dl
 - b. 約 1ℓ
 - c. 約 1.8ℓ
 - d. 約 10ℓ
10. これはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 石高
 - b. 石盛
 - c. 高持
 - d. 坪量
11. 元禄文化に関する記述として、正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 市川團十郎は、浄瑠璃の金平物の作風を歌舞伎に取り入れ、和事を完成した
 - b. 辰松八郎兵衛は、義理と人情の間で葛藤する庶民の姿を、人形浄瑠璃で演じた
 - c. 松尾芭蕉は、さび・しおり・細みで示される幽玄閑寂の談林風俳諧を確立した
 - d. 山崎闇斎は、神道を儒学流に解釈して唯一神道を説いた
12. この法令が発せられたときの徳川将軍は誰か。その名をしるせ。

D. 文中の下線部 について、次に示すのは、702年に作成された下総国の戸籍の一部である。養老令の規定によって、この戸が受給すべき田の面積を算出する計算式と解をしるせ。



Ⅱ . 次の文1～4を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 鎌倉時代から室町時代にかけて、宋・元・明との往来を通して、日本には仏教や文化の面で新しい動きが目立つようになった。栄西は、2度の入宋経験により日本に禅宗の一派である（イ）宗を広めた。また、栄西は、¹⁾宋から茶種を持ち込み、『喫茶養生記』を著して茶の効能や製法を述べ、日本における茶の普及のきっかけをつくった人物としても知られている。²⁾

（イ）宗は、室町幕府とも結びつきを深めて発展し、幕府は京都と鎌倉にそれぞれ五山を置いた。多くの禅僧が中国で学び、彼らによって中国の文化が持ち帰られて、³⁾水墨画や漢詩文がさかんになった。室町時代後期、「く あ >」を描いた雪舟も、明からの帰国後、日本的な画風を採り入れて水墨画を大成させた。

2. 江戸時代初期、貿易が活発に行われていたが、さらなる通商拡大をめざして、徳川家康は、く い >領のノビスパンに商人の田中勝介を派遣し、大名の伊達政宗は、家臣の（ロ）をヨーロッパに派遣した。しかし、いずれも通商を⁴⁾開くことはできなかった。

その後、幕府によって日本人の海外往来は制限されたが、漂流という形で海外に渡ることになった日本人も存在していた。（ハ）も漂流民としてロシアに渡った1人であり、1792年、ロシアの使節ラクスマンに伴われて根室に帰着した。（ハ）のロシア見聞の口述記録はく う >によって『北槎聞略』としてまとめられた。幕府はこのラクスマン来航を契機として、海防強化や北方探査を進めた。⁵⁾

3. 江戸時代末期の1860年、（ニ）条約の批准書を交換するために外国奉行の新見正興らの遣米使節がアメリカに派遣され、この時、（ホ）を艦長とする咸臨丸もこれに随行して太平洋を横断した。その後も榎本武揚、西周らがオランダに派遣されるなど何度か幕府の使節がヨーロッパに派遣され、⁶⁾諸藩も留学生を派遣した。

明治政府は、不平等条約改正の予備交渉を目的として、岩倉具視を全権大使とする使節団を編成し、官僚らの随員や、金子堅太郎、⁷⁾中江兆民らの留学生も同行させた。使節団は、当初の目的は果たせなかったもの、⁸⁾明治政府要人らが欧米の文明、政治、経済、軍事、教育などの諸制度を直接視察したことは、日本の近代化の方向性にも少なからぬ影響を及ぼした。その後も、明治政府はさかんに欧米への留学生派遣を行い、官費や様々な資金援助を得た留学生が欧米で学術を学び、それを日本に伝えることとなった。『草枕』⁹⁾

『明暗』などの作品を発表した（ヘ）は、留学経験を経て作家としての創作活動に入ったことで知られている。

4. 明治から昭和の内閣総理大臣の中には、多くの海外滞在経験者があり、外交官出身者も見られる。西園寺公望は、フランスに長らく留学して帰国し、のちにくえ総裁となり、2度にわたって内閣総理大臣となった。高橋是清は、内閣総理大臣のほか、数次にわたり大蔵大臣¹⁰⁾をつとめたが、高橋も10代での渡米経験など幾度かの海外滞在¹¹⁾を経験していた。外交官としての経歴を積んだ幣原喜重郎は、ワシントン会議の全権¹²⁾となり、1924年から30年代はじめまで数次にわたって外務大臣をつとめて、戦後、内閣総理大臣¹³⁾となった。幣原の次の内閣総理大臣となって以降、5次にわたって内閣を組閣¹⁴⁾することになる吉田茂も、戦前、外交官として駐英大使を経験している。

明治以降の日本からの海外渡航は、無論、留学や外交を目的とするものにとどまらず、商業活動、移民、そして日本が繰り広げる戦争への従軍など、様々な形で数多くの人々が海を渡った。ブラジルへの移住農民をテーマにした『蒼氓』で第1回芥川賞を受賞した（ト）は、『生きてゐる兵隊』で中国での日本軍の生態を写實的に描いて発売禁止処分を受けた。また、アジア・太平洋戦争に従軍してフィリピンで俘虜となった経験をもとに、『俘虜記』や『野火』などを発表していった（チ）のように、戦後、自身の戦争体験から、戦争の無残さや非人間性を訴える作品を発表する作家たちがあられ、大きな反響をよんだ。

A. 文中の空所(イ)～(チ)それぞれにあてはまる適切な語句をしるせ。

B. 文中の空所<あ>～<え>にあてはまる適切な語句を、それぞれ対応する次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

- | | | | | |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|
| <あ> | a. 一遍上人絵伝 | b. 春日権現験記 | c. 紅白梅図屏風 | d. 四季山水図巻 |
| <い> | a. イギリス | b. スペイン | c. フランス | d. ポルトガル |
| <う> | a. 大槻玄沢 | b. 桂川甫周 | c. 志筑忠雄 | d. 高橋至時 |
| <え> | a. 憲政本党 | b. 自由党 | c. 進歩党 | d. 立憲政友会 |

C. 文中の下線部1)～14)にそれぞれ対応する次の問1～14)に答えよ。

1. 栄西は1度目の入宋の際に、同じく日本から宋に渡った重源と出会ったとされる。帰国後の重源が再建につとめ大勸進職に任じられた寺院はどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 唐招提寺 b. 東大寺 c. 法隆寺 d. 薬師寺

2. これに関する次の問i・iiに答えよ。

i. 鎌倉時代の末から南北朝、室町時代にかけて流行した、数種の茶を飲み、その茶の産地をあてるかけごとを何と呼ぶか。その名をしるせ。

ii. 室町時代に侘茶^{わび}を創出した人物はどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 池坊専慶 b. 本阿弥光悦 c. 松永貞徳 d. 村田珠光

3. これに関する記述として正しくないのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 五山禅院は幕府の保護のもとで手広く金融活動を行った
b. 五山につぐ格式の寺院として十刹が定められた
c. 南禅寺は京都五山の上とされた
d. 幕府は、元の官寺制度にならって五山をおいた

4. これに関する記述として正しいのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 一国一城令により、大名の居城は1つに限られた
b. 将軍に臣従した8000石以上の者が大名となった
c. 幕府は、親藩大名に幕領を支配させた
d. 福島正則は、武家諸法度違反で転封された

5. 18世紀末～19世紀半ばの、ロシアの来航と日本の海防強化、北方探査に関する出来事a～eのうち、もっとも古いものを解答欄のiに、次に古いものを解答欄のiiに、以下同じようにvまで年代順にマークせよ。

- a. グローウニン事件 b. 幕府の東蝦夷地直轄地化
c. 間宮林蔵の樺太探査 d. 最上徳内・近藤重蔵の択捉島探査
e. レザノフ来航

6. この人物は、戊辰戦争の際に旧幕府軍を指揮して箱館の城塞にたてこもった。幕臣武田斐三郎が設計した、この城塞の名をしるせ。

7. この使節団に参加しなかつたのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 板垣退助 b. 伊藤博文 c. 木戸孝允 d. 山口尚芳
8. のちに金子堅太郎は、大日本帝国憲法草案作成作業に関わったが、その起草に際して草案を示し、助言を与えたドイツ人顧問は誰か。その名をしるせ。
9. これに関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. アメリカに留学して教育学や音楽を学び、帰国後、音楽取調掛の設置を提言し、小学校教育に西洋の歌謡を模倣した唱歌をとり入れることに努めた人物はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 伊沢修二 b. 岡倉天心 c. 滝廉太郎 d. 辰野金吾
- ii. フランスに留学して後期印象派の影響を受け、帰国後、白馬会結成や東京美術学校西洋画科創立に関わった人物はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 黒田清輝 b. 橋本雅邦 c. 菱田春草 d. 横山大観
10. 第 1 次西園寺公望内閣の時の出来事として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. ジーメンス事件 b. 大逆事件
c. 鉄道国有法成立 d. 戊申詔書発布
11. 高橋是清は、1931年12月に成立した内閣の大蔵大臣として、金輸出再禁止を断行した。この内閣はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 犬養毅内閣 b. 浜口雄幸内閣
c. 平沼騏一郎内閣 d. 山本権兵衛内閣
12. この会議では海軍軍縮、極東問題に関して審議され、いくつかの条約が成立した。それらに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 九か国条約に中国は参加していない
b. 四か国条約によって日英同盟協約の終了が同意された
c. ワシントン海軍軍縮条約によって、アメリカ・イギリス・日本の補助艦が制限された
d. ワシントン海軍軍縮条約によって、石井・ランシング協定は廃棄された

13. 幣原喜重郎内閣の時の出来事として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 女性参政権を認めた新選挙法（衆議院議員選挙法改正）が公布された
 - b. 8時間労働制などの労働条件の最低基準をさだめた労働基準法が公布された
 - c. マッカーサーに命じられて二・一ゼネストが中止された
 - d. 持株会社などを禁止する独占禁止法（私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律）が施行された
14. 吉田茂内閣に関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. 第1次吉田茂内閣の時に日本国憲法が公布された。日本国憲法の次の前文・条文中の空所①・②にあてはまる適当な語句をしるせ。

日本国憲法

〔前文〕日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び〔 ① 〕が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。……

第十一条 国民は、すべての〔 ② 〕の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する〔 ② 〕は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられる。

- ii. 吉田茂内閣に関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アメリカとの間で M S A 協定に調印した
 - b. 1ドル=360円の単一為替レートを設定した
 - c. 国際連合に加盟した
 - d. 陸海空の3隊からなる自衛隊を発足させた

【以下余白】

